



秋のお散歩

議会だより

かすや

9月議会号

NO.122

平成23年10月24日発行

|| 特集 ||

平成22年度一般会計決算

特別会計決算

企業会計決算

平成23年度補正予算

賛否表

一般質問6人

町民ひろば

16 10 8 6 5 4 2

10年振りの財政基金積立

1億7163万円

減った町債

7億647万円



平成23年第3回9月議会は、9月2日から20日までの会期で開催されました。平成22年度決算は決算特別委員会を設置して、9月6日から5日間の審査の後、すべて原案通り認定しました。

一般会計は歳入総額123億8180万7千円、歳出総額117億9235万1千円でした。繰越明許費5749万1千円を除いて、実質収支額は5億3196万円でした。

基金の積み立て

Q 財政調整基金が増えているが

A 財政運営上、歳入が町税と地方交付税、国や県からの補助金などで足りない場合に財政基金を取り崩して予算を立てます。

最近は何とか収入の範囲以内で執行することができており、取り崩した基金は使わず元に戻していました。

今年度はその上、新たに財政基金の積み立てが1億7163万円できました。

基金(貯金)

名称	22年度末残高	前年度比
財政調整基金	10億5621万円	1億7163万円増
公共施設整備基金	2億9463万円	59万円増
減債基金	6億7745万円	117万円増
特定財源外	7億4557万円	3万円増
合計	27億7386万円	1億7342万円増

町債(借金)

区分	22年度末残高	前年度比
一般会計	110億2720万円	4億1333万円減
住宅新築資金会計	0	2055万円減
上水道会計	19億9467万円	1億586万円減
下水道会計	117億6万円	1億6672万円減
合計	247億2195万円	7億647万円減



1階の総合窓口受付

電子自治体構築事業

Q 事業の進み具合は

A 少子高齢化や社会基盤の変化に対応するために情報通信技術を活用して、行財政運営を新たに20年度から取り組んでいます。

システム改編前後の5年間の比較では32%の削減ができました。昨年の5月にはフロア改修を行い、7月には「総合窓口サービス」を稼働しました。アンケートでも好評です。

すすんでいるか 行財政改革

歳出 117億9235万円

前年度比 8億7270万円増加

給食費の繰越金

Q 給食費の未納額が133万円ある。22年度の繰越金は57万円となっており、合わせて200万円近くが食材購入に使われていないことになる。

収入に見合った食材の支出をしてほしい。不足分は一般会計からの借り受けでもいいのでは。

A 22年度は大川小学校と粕屋中学校が未納額0でした。優良校を見習ってほしいと各校の担当者に集まってもらって、7月に研修会を開きました。

給食費の場合は一般会計からの借り受けは私会計なのでできません。

食材の放射能汚染

A 牛肉は、各頭に個

体識別番号があり、どこで産出されたかはすぐにわかります。

粕屋町の給食では放射能に汚染された牛肉また、汚染された麦藁を飼料にした牛の肉を使っていないことが分かっています。他の食品も県内産を使用しています。

スクールソーシャルワーカー

Q スクールソーシャルワーカーの巡回はどの程度あっているのか

A 各学校からの要望によって違います。必要に応じて派遣を依頼し一回の相談時間は原則2時間で昨年度は50回の利用がありました。不登校児童数減に良い結果が出て、学校、保護者から喜ばれています。

町税徴収

名 称	22年度収入額	徴収率	不能欠損額
個人住民税	18億6999万円	96.45	1165万円
法人町民税	6億4636万円	99.65	103万円
固定資産税	28億7935万円	98.41	1372万円
軽自動車税	6899万円	96.86	39万円
町たばこ税	2億5805万円	100.00	0
合 計	57億2275万円	97.96	2681万円



給食の献立

収納課の創設

Q 収納課ができてどう変わったのか

A 課ができて、特に県外への徴収体制が強化されました。昨年度は収納効果額(滞納処分等により今後収納が見込める額)は、5,206,851円となりました。

滞納額の累計

名 称	22年度末	前年度比
町 税	4億6828万円	1133万円減
保 育 料	730万円	31万円増
給 食 費	642万円	72万円増
町営住宅家賃	1585万円	3万円増

平成22年度 特別会計・企業会計決算

平成22年度歳出決算額

事業区分		決算額		
		21年度歳出	22年度歳出	前年比較
特別会計	国民健康保険	34億6277万円	35億1599万円	5322万円
	後期高齢者医療	3億3347万円	3億4320万円	973万円
	老人保健	4605万円	678万円	△3927万円
	介護保険	14億9794万円	15億9690万円	9896万円
	住宅新築資金等貸付	668万円	3858万円	3190万円
	流域関連公共下水道	16億0450万円	—	△16億0450万円
	小計	69億5141万円	55億0145万円	△14億4996万円
企業会計	水道事業	12億0184万円	11億4803万円	△5381万円
	流域関連公共下水道	—	21億0509万円	21億0509万円
合計		81億5325万円	87億5457万円	6億0132万円

※流域関連公共下水道事業は22年度より企業会計に移行したため合計に違いがある

平成22年度 特別会計決算

国民健康保険税収納状況

(1) 収納率

◎現年度分

年度	全体		
	調定額 千円	収納額 千円	収納率 %
20	885,218	744,704	84.13
21	870,267	732,124	84.13
22	853,413	725,539	85.02

◎滞納繰越分

年度	全体		
	調定額 千円	収納額 千円	収納率 %
20	478,345	74,557	15.59
21	518,662	67,447	13.00
22	567,340	79,020	13.93

一般会計から国民健康保険への繰入金

(単位：円)

平成17年度	25,110,000
平成18年度	265,039,000
平成19年度	350,000,000
平成20年度	250,000,000
平成21年度	120,000,000
平成22年度	50,000,000

平成22年度特別会計で、前年度と比べて増減額の大きかった会計は、国民健康保険会計と介護保険会計でした。
2会計とも保険給付が伸びています。また、下水道会計が、特別会計から企業会計に移行しましたので小計の変動が大きくなっています。



レセプト点検

健康保険の資格確認や、重複、他受診などを診療報酬明細書で点検を行っています。

医療費の適正化
レセプト点検の効果が上がっていると
A 国保会計の赤字対策の1つにレセプト点検の強化が挙げられます。粕屋町では点検効果率が常に県内で上位を占めています。

短期保険証の有効期限の内容は。
A 若い人は6ヶ月以上とし、収納状況に応じて有効期限は1ヶ月、2ヶ月と柔軟に対応している。分割の能力があれば1年交付とするなど、担当者の判断で出している。

平成22年度 企業会計決算

近隣市町の料金比較(平成22年度)

上水道

(単位：円)

	家庭用料金		現行料金 実施年月日
	10m ³ 使用	20m ³ 使用	
粕屋町	1,620	3,510	H22. 4. 1
宇美町	1,000	2,500	H17. 4. 1
志免町	1,449	3,759	H 9. 6. 1
須恵町	1,640	3,740	H22. 6. 1
篠栗町	1,100	2,591	H14. 4. 1
久山町	1,150	2,410	H11. 4. 1
新宮町	1,800	3,800	H 9. 4. 1
古賀市	1,740	3,760	H 9. 6. 1
福岡市	1,071	2,698	H 9. 4. 1

下水道

(単位：円)

家庭用料金	現行料金 実施年月日
2,620	H 7. 4. 1
3,260	H21. 4. 1
2,541	H 9. 4. 1
2,730	H 8. 3.29
2,496	H14. 4. 1
2,940	H 7. 2. 7
3,150	H21. 4. 1
2,460	H 9. 6. 1
2,530	H17. 6. 1

一般会計から水道事業への繰入金

(単位：円)

平成13年度	102,932,000	平成18年度	26,254,000
平成14年度	100,281,000	平成19年度	50,000,000
平成15年度	95,004,000	平成20年度	45,000,000
平成16年度	89,185,000	平成21年度	5,000,000
平成17年度	80,267,000	平成22年度	5,000,000

水道会計とは

上水道会計は昭和47年の設立当初から、下水道会計は平成22年度から企業会計です。

一般会計に余裕があるときは繰入金額も多いのですが、現在は財政が厳しく、繰入金は年々少なくなっています。

経費節減などの企業努力が求められます。

A 町は水が少ないので水道企業団から受水しており、将来の収支を考えると赤字になるので値上げをした。

昨年度は、給水収益が予定よりも1300万円と口経別納付金が1000万円以上増収になった。

Q 一昨年、赤字を理由に料金値上げをしたときに、一般会計からの繰り入れを、4500万円から500万円に削減した。しかし2年後には1億円の黒字を出しているのに、値上げしなくて良かったのでは。



粕屋町浄水場

一般会計補正予算 を可決 8831万円

9月定例会では条例の改正が2件、工事請負契約の変更が1件、人事案件が6件、決算の認定が8件、補正予算が5件、諮問が1件、合計23議案を審議し、原案通りすべて可決しました。

また、意見書3件は可決、請願3件のうち2件は採択、1件は継続審査となりました。

一般質問は6人の議員が行いました。

工事請負契約の変更

6月議会で可決した、粕屋東中学校第7期工事の一部を議会の要請により変更することになりました。

主に体育館階段室や2階ホールの床の張り替え、壁塗り替え、天井塗り替え、柔道場豊廃棄処分などを追加し、373万8千円増額。

合計8601万6千円となりました。

人事案件

○教育委員の任命
安河内勢士氏
任期満了で再任、2期目

○固定資産評価審査委員会委員の選任
友野和憲氏
前任者の退任により新任
安河内勇臣氏
任期満了で再任、2期目

○人権擁護委員の諮問
森 紘氏
任期満了で再任、4期目

クローズアップ

● 職員の被災地派遣に伴う旅費の増額

215万円

9月現在で7名派遣、今後2名追加の予定です。



派遣先の南三陸町

糟屋郡7町の職員派遣状況 H23.9.1

粕屋町	7名	須恵町	6名
宇美町	4名	新宮町	5名
篠栗町	6名	久山町	4名
志免町	5名		

● 避難活動コミュニティ助成の創設

423万円

自主防災組織の設立強化や活動などの運営費。小学校4区でハザードマップなどを作成予定です。

平成23年度一

歳入歳出

4265万円

総額123億

平成23年度 一般会計補正予算の主な内容

(単位：万円)

事業名	増減額	主な内容
小学校施設整備事業	△1000	児童数推移変化により建築年度再考のため事業見送り(西小学校)
中学校施設整備事業	△1000	生徒数推移変化により事業見送り(粕屋中学校)
国際交流事業	△2023	青少年の翼事業中止
社会体育事業	734	現岩田屋産業跡地売却の為中央スポーツ公園ゲートボール場を総合整備
農業委員会委員選挙執行事務	△172	無投票で選挙が無かった
消防施設費	△460	江辻地区防火水槽撤去工事をしなかった
妊婦健診支援事業	229	平成22年度県よりの補助金の返還金
戸籍住民登録事務	1460	住民基本台帳法改定に伴うシステム改修費
子ども手当給付事業	△8127	子ども手当の廃止による平成23年度分4月～9月分支給分の差額
乳幼児医療費助成事業	2000	医療費の増加(入院等による)
隣保館等管理運営費	1608	地方改善施設整備事業設計委託料119.7万円、工事費1488.8万円(上大隈)
障害者地域生活支援事業	314	移動支援事業の利用時間増228.2万円、訪問入浴サービス利用者増67万円
障害者自立支援給付事業	2393	臨時雇用の保険料、賃金92.6万円、グループホーム・ケアホームの家賃補助412.9万円、障害者利用見込増1599万円、特別給付金95.4万円、H22確定償還金193.1万円
障害者自立支援医療事業	2092	平成22年度の月遅れ請求及び生保受給者の更生医療の増加1500万円、22年度確定による償還金592.2万円
私立保育所運営事業	5720	私立保育所定員増と保育所運営委託料の増加
道路維持修繕事業	1500	地元要望等緊急維持修繕箇所に対応するため
道路改良新設事業	680	防犯灯など減400万、酒殿～植木線改良工事
橋梁維持事業	3000	阿恵橋の橋梁補修工事
農業振興事業	703	戸原古屋敷水路設計委託料250万円、マスタープラン策定業務委託料250万円、負担金203.5万円
バラ祭り事業	△150	バラ祭りが中止になった

ガチンコ対決、議員の意見が違ふのは当たり前！

町の提案に、賛否両論！

9月定例会における、主な議案に対する各議員の賛否結果一覧

議案名		1期 ↓ 3年間	平成23年度 一般会計補正予算	平成23年度 国民健康保険 特別会計補正予算	平成23年度 後期高齢者医療 特別会計補正予算	平成23年度 介護保険 特別会計補正予算	平成22年度 一般会計決算	平成22年度 国民健康保険 特別会計決算	平成22年度 後期高齢者医療 特別会計決算	平成22年度 上水道会計決算	1期 ↓ 3年間
○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席											
議案番号		39号	44号	45号	46号	47号	50号	51号	53号	56号	諮問1号
所 属 委 員 会	結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
	議場(賛成/反対)	15/0	15/1	16/0	16/0	16/0	15/1	14/2	14/2	14/2	15/1
	付託先委員会	総務	予算	予算	予算	予算	決算	決算	決算	決算	総務
総務	安川 俊彦 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山脇 秀隆 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	川口 學	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
	澁田 順二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本田 芳枝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	小池 弘基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建設	伊藤 正 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福永 善之 副	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
	安河内 利明	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	八尋 源治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長 義晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
厚生	向野 正幸 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	因 辰美 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	浦元 甫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久我 純治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田川 正治	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
	進藤 啓一	議長は、採決に加わりません									

☆賛否表に掲載されていない議案は、全員賛成で可決しました

☆議案名については、わかり易い文言に置き換えました



志免炭鉱跡地のポタ山

歩みだしたポタ山利用

20年間進展がなかったポタ山協議会。平成22年5月27日、粕屋町、須恵町、志免町の3町の委員と各事務局34名で佐世保市世知原(かじか健康公園ぼた山555段)視察に行きました。初めての3町での行動でした。その後協議会において、各町の委員会から2名ずつ選出し、自然活用型のポタ山開発を推進するプロジェクトチームが発足しました。

今後プロジェクトチームとしてポタ山開発に取り組みます。

議員より提出された意見書

【継続審査となったものは、引き続き粕屋町議会で審査を継続します】

件名	提出議員	付託委員会	結果	
			委員会	本会議
原発からの計画的撤退を求める意見書	川口 學 田川 正治	建設	可決 賛成：2 反対：1 継続：1	可決
電力多消費型経済からの転換を求める意見書	浦元 甫 山脇 秀隆	建設	継続 賛成：1 反対：1 継続：2	継続
学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書	浦元 甫 山脇 秀隆	総務	可決 賛成：5 反対：0	可決

住民より提出された請願書

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果	
				委員会	本会議
粕屋町保育所新設及び、町立保育所存続を求める請願	粕屋町の子育て環境を考える会 代表 杉林 高志	川口 學 本田 芳枝 田川 正治	厚生	採択 賛成：4 反対：1	採択
非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択の請願	原爆被害者粕屋の会 代表 千代田 不三男	洪田 順二 浦元 甫	総務	採択 賛成：5 反対：0	採択
少人数学級推進義務教育費国庫負担制度拡充を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	原田 達夫 (江辻区)	川口 學 本田 芳枝 小池 弘基 田川 正治	総務	採択 賛成：5 反対：0	採択



新設保育所予定地

中央保育所存続

現在の中央保育所を残し原町駅裏に新しく民営の保育所を町有地に新設します。

平成23年9月末日までに10法人からの申込みがあつていきます。

10月中に一次選考、二次選考をして、24年3月までに着工して、平成25年4月の開園を予定しています。

定員予定は120名です。

防災体制に女性委員の登用は

総務部長／防災を熟知している方であれば任用も

本田 町の防災計画の見直しが必要ですが、会議開催の動きがない。

また防災会議のメンバーは町の職員、警察、消防関係者で男性がほとんどだ。

防災弱者対策を考えると女性委員の視点が必ずしも必要だが、災害時の要援護者対策のあり方や、今年度の会議開催について問う。

女性委員については推薦により町長が任命するようになっていくので理解してほしい。

支援を望まれる方への支援は個別の計画を作成し来年から活用する予定です。

総務部長

福岡県の防災計画

の見直しは本年度にありますので、粕屋町はそれを受けて24年度に防災会議を行い町の防災計画の見直しを予定にしています。

「粕屋町審議会等の設置及び運営に関する要綱」の抜粋

第4条(人選基準)公募制度を積極的に採用する。

- (1) 関係団体等からの選出は役職にこだわらず、幅広く選任するものとする。
- (2) 女性委員の数は**20%以上**を目標とする。
- (3) 町会議員、行政委員会の委員及び常勤の町職員は委員数をできるだけ縮減する。
- (5) 委員構成に町会議委員他の委員の身分を必要とする委員がない場合は選任しない。
- (7) 他の委員との兼職は原則として1人3機関まで。
そのほか委嘱期間は原則として2年以内、在任期間は通算10年を超えないものとする。

第5条(公募基準)

- (2) 公募委員の枠は委員数の20%を目途とする。
そのほか会議の公開の告知、傍聴の規定、委員会の開催日を委員が出しやすい日などに。

平成18年11月策定



本田 芳枝 議員

子どもの読書計画2次策定の取組みは

教育長／1次のアンケート調査中です

本田

読書離れが進んでいる現状を憂い、平成13年に国

16年に県、粕屋町は18年に計画が出来ました。1次の取り組みの分析と2次策定の進捗状況は。

教育長

6月に幼稚園・保育園・

小学校・中学校の子どもの実態調査、9月に読書ボランティアの各団体に読書環境や取り組みのアンケートを実施しています。

1次では、学校図書館の電算化、4小学校の図書館にエアコン整備ができました。



柚須文化センターでの読み聞かせ

柚須文化センターと上大隈隣保館には図書館員がはかして地域貸出事業を始めています。司書の部会や研修を一緒にして図書館と学校図書館の情報交換を図っています。

町民の7割、8割の方が図書館利用登録をして本を読む姿を子どもに見せていただきたい。



田川 正治 議員

粕屋町の防災対策の進捗状況は

総務部長／県の防災計画の見直しを受けて作成

県

大震災の復興財源として、消費税の大増税に反対が56%、賛成が41%。

原子力発電所は減らすべきは74%、すぐに廃止が11%。

玄海原発から59・7キロの粕屋町は、九州電力や国、県に対して原発ゼロを要請すべき。

そこで、2年前のゲリラ豪雨の被害を繰り返さないため、大川小学校の堤防の高上げなど防災対策を。

① 河川のライブカメラの設置は

② 防災無線のサイレンの活用は

③ 災害時要援護者の個別計画は

④ 大規模災害時の応援協定は

総務部長

① 県が設置している雨水橋の一基だけ

② 今後、防災無線の運用も考える

③ 要援護者の個別避難計画を作成する

④ 国と協定締結の協議を進める



雨水橋のライブカメラ

低所得者の負担軽減の救済策を

住民福祉部長／負担軽減については、関係各課で対応

県

65歳以上が500万人を

超え、高齢者がいる家庭が全世帯の42・6%。

完全失業率が4・6%、年収200万円以下のワーキングプアが、1300万人。

30歳代の所得は年収300万円が一番多く、低所得者と高齢者の救済が必要。

① 社協の生活福祉資金を活用した救済は

② 生活保護の一時扶助の貸付けの状況は

③ 町住条例の家賃減免や徴収猶予の救済は

④ 国保の病院窓口一部負担の減免制度の状況は

⑤ 高齢者や低所得者、生活保護者などの地域難民の対策は

住民福祉部長

取猶予の基準を策定中です

① エアコン設置の貸付けの問合わせが1件

② 県にはエアコン設置の一時扶助の制度がない

③ 町住条例の減免と徴

④ 5224人の国保加入者に減免制度を通

⑤ 各世帯へチューナー無償設置などを周知徹底した



朝日町営住宅

篠崎町長二期目の出馬について

町長／出馬を撤回、辞退します

長 一般質問通告書で

①1期4年間の目指した政策に対する成果と反省

②2期目の目標とされる町政は何かを質問する予定でしたが、突然の出馬の撤回、辞退が8月31日の全員協議会の冒頭でありました。

しかしながら、住民に対する説明責任が必要と思いますが、お聞かせ下さい。

町長 本当に大変申し訳なく

思っていますが、残念ながら立候補を断念いたしました事をここに改めてお詫び申し上げます。

4年間本当に短い間でしたが有難う御座いました。

残されたあと二ヶ月間、これから先も変わらず努力して参りたいと思っております。



篠崎町長4年間の最後の答弁

行政区の再編と適正な組合世帯数は

総務部長／区長会、審議会に相談したい

500世帯以上の行政区
平成23年7月31日現在

行政区名	世帯数
柚 須	1,504
花ヶ浦	1,436
原 町	1,268
戸 原	1,010
長者原 下	1,002
乙仲原 西	1,001
若 宮	966
乙仲原 東	933
長者原 中	848
甲 仲 原	810
長者原 上	780
内 橋 1	745
江 辻	560
大 隈	557
酒 殿	554
長 戸	549



長 義晴 議員

長 24行政区は平成5年～6年

にかけて行政審議会の答申を受けて、適正な行政区の世帯数500世帯程度の方針に沿って、再編されたが、1000世帯以上は6行政区、800世帯以上は10行政区となっているが、行政区の標準

世帯数また、組合の適正世帯数についての指導はされたのか？

総務部長

分区分がされた平成

5年～6年と比較して行政運営の在り方や地域コミュニティの状況など大きく変わっており、新たな検証が必要ではないかと考えている。地域力、地域コミュニティというのが問われており、行政区や組合を運営するに当たってどういう規模が一番いいか、今後区長会、審議会もあり、相談してまいりたいと考えております。



小池 弘基 議員

後期5ヶ年基本計画の対策は

都市政策部長／計画通りに実施します

小池

1. 秩序ある都市創造の推進
- ① 土地区画整理事業の考えは
 - ② 福岡東環状線事業の考えは
 - ③ J R 福北ゆたか線の新駅構想に対する考えは
2. 快適な交通環境創造の推進
- ① 土地計画道路の整備率の進捗状況は
 - ② 道路幅4・0m未満の割合に対する進捗状況は
 - ③ 歩道設置率に対する進捗状況は

1. 秩序ある都市創造の推進

① 土地区画整理事業の考えは

② 福岡東環状線事業の考えは

③ J R 福北ゆたか線の新駅構想に対する考えは

2. 快適な交通環境創造の推進

① 土地計画道路の整備率の進捗状況は

② 道路幅4・0m未満の割合に対する進捗状況は

③ 歩道設置率に対する進捗状況は

3. エコタウンかすやの構築

① 1日1人あたりのゴミ排出量に対する考えは

② 古紙類集団回収団体の進捗状況は

④ クリーンタウンかすやの実現

① 環境美化作業参加者数に対する考えは

都市政策部長

1. 秩序ある都市創造の推進

① 花ヶ浦地区と、酒殿駅周辺の町づくり検討委員会が組織され区画整理事業の実施に向けた協議が進められています。

② 21年度に調査設計が行われ、22年度からは一部用地買収も行われています。

③ J R 福北ゆたか線の新駅構想を協議していききたい。

3. エコタウンかすやの構築

① 1日1人あたりのゴミ排出量に対する考えは

② 古紙類集団回収団体の進捗状況は

④ クリーンタウンかすやの実現



原町駅前の狭隘道路整備予定地

2. 快適な交通環境創造の推進

① 千代粕屋線・福岡東環状線・筑紫野古賀線などの県事業で、4940メートルが完成すれば目標値に近づくと考える。

② 22年度末までの進捗状況は39・6%ですが、狭隘道路整備補助金を活用し整備を進めたい。

③ 22年度までの進捗状況は27・0%ですが、整備を検討していき

3. エコタウンかすやの構築

① 21年度の1人当たりのゴミ排出量は837グラムで、22年度は835グラムでした。

② 22年度の団体の登録数は70を超えていますが、活動団体は52団体です。

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

3. エコタウンかすやの構築

① 21年度の1人当たりのゴミ排出量は837グラムで、22年度は835グラムでした。

② 22年度の団体の登録数は70を超えていますが、活動団体は52団体です。

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

② 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

③ 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

② 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。



ごみ処理施設クリーンパークわかすぎ

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

② 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

③ 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

② 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

③ 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

④ クリーンタウンかすやの実現

① 22年度の参加者数は1万683名で、前年度より830人の増です。

街路樹の手入や管理について

都市政策部長／枯れた樹木は植替えます

久我

信号付近の樹
一本の枝が、

信号を見えにくくして
いたとの事で、樹通りの
全ての木を剪定して、
切り込みすぎで、10年
以上もたつた樹が6本
も枯れてしまった。
まことにお粗末であ
る。

樹も生きもの、剪定
にも時期があり、切り
込みにも方法があるは
ず。

枯れた木の植替えは
どうするのですか。

駕与丁公園の桜、役
場前の桜並木、江辻の
銀杏並木、長者原の櫻
通りなど、とてもステ
キでした。

思い出になる様な並
木通りを作ってほしい。

都市政策部長

交差点付近では信号
が見えにくかったり、
台風の際には電線を切
る恐れがあり業者に剪
定させたが、今後、樹
木の管理に精通してい

る方達の意見を聞き、
また、樹について勉強
し可能なかぎり樹形な
どを考慮し管理したい。
枯れた木は時期にな
ると植え替えます。



立ったままの枯木と切株

敷縄池の管理とヒシ草の除草

都市政策部長／農区とも話し合い一番安価方法を



久我 純治 議員

久我

昨年緊急雇用
対策の助成金

750万円を使い、池
一面のヒシの除草がさ
れましたが、一年たつ
と池の1/3くらいヒ
シがおおっている。

ヒシ草の上部のみ取
り込んでも根はのこり
無駄な作業でヒシの実
だけの問題でない。

お金のむだ使いであ
る。

農業に関することに
なると行政はおよびご
しに思えます。

農業委員の人達と、
話し合い、水をぬき、
その上に除草剤をかけ
ると、根から枯れて少

ない経費で効率よく目
的が達成されます。
助成金でも自分のお
金だったら有効に使う
はずです。

都市政策部長

敷縄池は農業用水の
貯水が目的の池である。
ヒシの存在が農業に
は悪い影響はないが、
悪臭、景観が悪いと
の苦情で除草しました。
このままだとまた、
一面おおわれます。
今年、予算が無い
が、農区とともに話し
合い一番安価な方法で
除草します。



敷縄池のヒシ草



山脇 秀隆 議員

スポーツで町の活性化を

教育次長／信頼と協働の町を基本理念に

山脇

本年6月にスポーツ振興法

が全面改正され、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む事はすべての人々の権利とする権利規定が記された。粕屋町の魅力や池の利を活かしたスポーツで町づくりをしてはどうか。

教育次長

今後の町づくりは、第4次総合計画の町民



文化スポーツ施設の活用がすすむ
かすやドーム周辺

と行政がお互いの責任と役割を認め合う中で、信頼関係を築き、みんなで実践する信頼と協働の町づくりを基本理念として取り組んでいます。

ひとつの方法として、今後も町民1人1スポーツを目標に、町民の健康づくりや生活の潤いづくり、住民相互の交流など、スポーツ活動を通して町づくりを実践していきます。

学校図書館の充実を

教育長／人的・物的整備の充実を図っている

山脇

学校図書館の人的・物的整備

備が行き届いていないため、十分な活用をされていない事が度々指摘されている。

児童生徒の読書活動を推進し、言語力の育成を図っていくためには、児童生徒が活用しなくなるような学校図書館へ整備する取り組みが求められている。

教育長

人的整備については、

6校とも図書司書1名、司書教諭1名を配置しています。

物的整備については、小中学校すべてにエアコンの設置が終わったところです。

蔵書については、学

校図書館図書標準に達成しています。

読書活動の状況については、小中学校とも授業時数の中に授業として取り入れ推進をしています。

図書館が800人、

900人の子どもたちに耐える図書館の整備をどう作っていくかというのが今後の検討課題と考えます。



新しく改装された中央小図書館

町からの主な補助金・負担金(平成22年度決算分)

補助金名	金額(円)	補助金名	金額(円)
環境生活課分 15件	669,022,620	社会教育課 26件	97,049,259
須恵町外二ヶ町清掃施設組合分担金(ゴミ処理)	629,670,000	人権教育推進費(粕屋地区人権運動連合会)	3,375,000
須恵町外二ヶ町清掃施設組合分担金(し尿処理)	29,938,000	人権教育推進費(部落解放同盟表粕屋地区協議会)	3,375,000
古紙類等回収奨励金	5,130,720	ときめき体験事業補助金	4,322,629
バラまつり実行委員会補助金	1,499,275	分館助成金	8,953,536
その他(11件)	2,784,625	自治公民館生涯学習補助金	2,808,000
		分館施設及び集会所整備等補助金	54,612,000
介護福祉課 14件	42,767,662	体育協会補助金	2,700,000
民生委員児童委員活動費補助金	2,227,666	県・地区体育大会選手強化費	2,077,700
粕屋町社会福祉協議会補助金	26,477,096	その他(18件)	14,825,394
老人クラブ補助金	2,500,000		
シルバー人材センター補助金	9,000,000	協働のまちづくり課 9件	6,078,209
その他(10件)	2,562,900	YOSAKOIかすや祭り補助金	3,500,000
		商工花火大会補助金	1,000,000
地域振興課分 13件	24,635,860	その他(7件)	1,578,209
粕屋町外1市水利組合負担金	6,088,000		
生産調整推進対策事業転作等推進費	5,031,060	学校教育課 13件	14,902,400
粕屋町商工会補助金	8,500,000	北筑前養護学校通学交通費補助金	3,923,000
粕屋町商工会街路灯電気代補助金	600,000	健康増進特別事業補助金	1,621,200
プレミアム付商品券発行事業費補助金	2,700,000	部活動補助金(中学校2校)	4,880,000
その他(8件)	1,716,800	その他(10件)	4,478,200

編集後記

小池 弘基

今年も早いもので、第3回9月定例会も終わり、すぐ第4回12月定例会が開催されます。

我々議会広報委員会のメンバーは、いかにして議会で審議された内容を早く・正確に・解りやすく伝えるために、年間に24回の会議を行っています。これからも皆様のご意見をお待ちしています。



議会だより表紙の写真公募

平成23年3月議会だよりから公募を始めましたが、今回は3件の応募でした。

写真は長者原上区の方の古川様です。ありがとうございました。

次回12月議会だよりも四季の子どもさんが写った写真をご提供下さい。

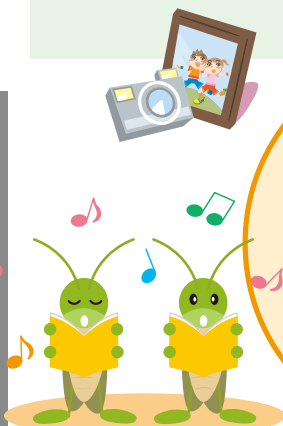
12月末までに、住所、氏名を明記のうえお送り下さい。

なお複数応募があれば広報委員会で選定させていただきます。写真は返却致しませんので御了承下さい。

詳しいことは、議会事務局あてにお電話下さい。お待ちしております。(あて先は本頁末尾)

議会広報一同

委員	委員	委員	委員	副委員長	編集委員長	議会広報編集特別委員	議長	発行責任者
福永善之	小池弘基	田川正治	長義晴	久我純治	本田芳枝		進藤啓一	



次回の12月議会は
12月9日(金)
開会予定
12月12日(月)
一般質問予定